

農業科1年生～3年生が、JAほこた直売所「なだろう」を見学しました。
～店長から出荷時の注意点、販売方法の工夫などを学びました～

11月24日（木）に、農業科1年生、同2年生が、25日（金）に同3年生が、ファーマーズマーケット「なだろう」の見学会を実施。生徒が地域への理解を深めるとともに、店長から出荷時の注意点、販売方法の工夫などを学び、農作物の栽培や出荷に役立てるために実施しました。

農業科1年生の見学では、初めに、銚田二高産の商品棚で、店長から「シャインマスカットは甘くてとてもおいしい。食べた日に、もう一度買いに来る方もいる」などの話がありました。

また、地域の生産者の商品棚では、「今年は天候がよく、白菜が大きく成長した。少人数家庭のために半分に切った白菜も販売している」「売れ残った野菜は、つくば市の子ども食堂に宅配便で送付して食品ロスの削減につなげている」など話がありました。

その後、バックヤードで、商品の搬入から陳列までの流れについて説明していただきました。

見学を終えた生徒は「店に入ってきれいだなと思いました。清潔・衛生管理に力を入れていることがわかりました。新鮮で清潔な野菜を出荷したい」などと話してくれました。

また、店長が「銚田地域でも農業者の高齢化が進んでいます。農業を学んで、多くの生徒が就農して、地域の農業の担い手となることを期待しています」と生徒を激励してくださいました。

【店長からの説明（概略）】

- ・年間約25万人が来店。きれいな店舗づくりが大切で、従業員がこまめに清掃。衛生管理も徹底。
- ・生産者の利益が最優先。販売手数料は、野菜15%、食品加工品20～30%。
- ・出荷者は約350名、販売農作物は約40種類、年間売上は約8億円。
- ・生産者は、出荷時に、入店前に店内が土で汚れないよう長靴を履き替えることにしている。
- ・出荷者と協力して、お客さんがまた来たいと思うよりよい店舗づくりの工夫や改善を続けている。

【見学のようす】

